

もりよしさんらくこうげん  
< 森吉山麓高原自然再生全体構想の概要 >

1. 自然再生の対象となる区域

秋田県北秋田市森吉山麓高原 1 - 1  
(面積 487.7ha)  
(森吉山頂の東部にあたり、ノロ川  
左岸と東又沢に挟まれた区域)

2. 自然再生の目標

短期的な目標 (今後 30 年間の取組…  
造成期)

森林の連続性に配慮しつつ、無立木  
地を出来るだけ少なくすることを当面  
の目標とする。

中期的な目標 (50 年後の森林の姿…  
人の手から自然力へ)

植栽した木がようやく二次林的な様  
相を見せるようになり、初期に植栽し  
た樹木は種子を作る母樹となる。その  
母樹の周辺で更新が始まり、当初植栽  
できなかった箇所でも更新が始まる。

この頃になると草地の時と異なり森林が再生されはじめ景観が変化するとともに、生物多  
様性に富んだ森林が育成され、動物相も豊かになる。また、それらの動物が新しい母樹か  
ら生産される種子の運搬役となり、さらに母樹林の波及効果が拡大する。

長期的な目標 (100年後、そしてそれ以後の望ましい森林の姿…自然に近いブナ林の再現)

植栽地には面的な広がりや階層を持った豊かな森林空間が再生され、鳥獣保護区や国有  
林「緑の回廊」等の周りの森林と連続性が確保される。壮齢林となることにより、クマゲ  
ラの摂餌や営巣に適した木々が多くなり、クマゲラの棲める森林が再生される。より時間  
を経ることにより枯損木や倒木の出現が多くなり、よりクマゲラの生息に適した森林とな  
っていくと共にギャップ更新などによる天然更新が進行していく。

3. 森吉山麓高原自然再生協議会構成員

専門家 4、市民団体 2、公募委員 10、地方公共団体 2、関係行政機関 3  
計 21 構成員 平成 19 年 1 月現在

4. その他自然再生の推進に必要な事項

森林の再生方法について

・植栽する種子や苗の採取は事業対象地内から行うことが望ましいが、得難い場合は森吉  
山地内とし、また植栽する樹種は周囲の森林と連続性を保つ観点から決定する。

また、天然の種子からの発芽を誘導し、天然下種更新も期待していく。

・植栽箇所と周囲の天然林との連続性を保つ上で橋渡しとなる二次林の間伐等の保育を  
必要に応じ行う。

植栽箇所について、クマゲラの生息中心域に近い牧場部分を優先的に植栽する箇所とする。

自然観察・自然環境学習を取り込んだ事業実施とする。

